

群馬県国際理解教育研究会

龙より

群馬県国際理解教育研究会
発行責任者 会長 天川 博

平成28年度在外施設派遣内定者数335名

現職派遣予定者

都道府県名	校長		教頭		教諭		
	男	女	男	女	男	女	
北海道	1	1		1	13	3	19
青森県				1	3		4
秋田県					3	1	4
岩手県						2	2
山形県					1		1
宮城県	1		1		2	4	8
福島県					4	2	6
新潟県					1	2	3
群馬県					2	2	4
栃木県					2	3	5
茨城県			1		8	1	10
千葉県					6	4	10
埼玉県			2		8	9	19
東京都			1		21	7	28
神奈川県					11	7	18
静岡県				1	6	1	8
山梨県					2		2
長野県					3	3	6
富山県					1	2	3
石川県						1	1
福井県					2		2
滋賀県			1		3	2	6
岐阜県					2	2	4
愛知県	2				10	1	13
合計	4	1	6	3	114	61	
	5		9		175		

都道府県名	校長		教頭		教諭		
	男	女	男	女	男	女	
三重県	1				2	1	4
奈良県					2	1	3
和歌山県						2	2
大阪府					20	12	32
京都府	1				3	3	7
兵庫県	1		1		12	6	20
岡山県					1	2	3
鳥取県					3		3
島根県					1	1	2
広島県					1	3	4
山口県					1	1	2
香川県						2	2
徳島県			1		2	1	4
愛媛県					2	2	4
高知県					1	1	2
福岡県			1		3	3	7
佐賀県					1	1	2
長崎県		1			4	2	7
大分県					2	2	4
宮崎県	1		1		3	2	7
熊本県					3	3	6
鹿児島県					5	2	7
沖縄県	2				4	2	8
国立学校	1		1		4		6
合計	7	1	5	0	80	53	
	8		5		133		
総合計	13		14		308		

シニア派遣予定者(57名)

	男	女	合計
校長	23		23
教頭	3	2	5
教諭	18	11	29

◆教諭(男)1名：群馬県です

派遣者数の多い都道府県

1位 大阪府 32名	7位 千葉県 10名
2位 東京都 29名	8位 宮城県 8名
3位 兵庫県 20名	静岡県 8名
4位 北海道 19名	沖縄県 8名
埼玉県 19名	9位 京都府 7名
5位 神奈川県 18名	福岡県 7名
6位 愛知県 13名	長崎県 7名
7位 茨城県 10名	宮崎・鹿児島 7名

◆第18回在外教育施設派遣セミナー



【講義する高橋悦史 副会長】
(元フランクフルト日本人学校)
(現前橋市立荒牧小学校長)

「海外子女教育の特質と求められる教員像」

- (1) 派遣への期待と不安
海外生活の期待、国情・国際情勢の不安、海外に暮らす子ども達
安全対策と情報収集、住めば都
- (2) 派遣までを振り返って
教職10年を終えて、先輩教員の影響、家族の協力とタイミング
応募から派遣まで(学校や保護者の協力と応援)
- (3) 3年間の派遣を振り返って①
金融都市フランクフルト、1990年のドイツ統一 湾岸戦争と日本人学校
- (4) 3年間の派遣を振り返って②
フランクフルト日本人学校の子供達、日本人社会での付き合い、現地社会との交流
- (5) 日本人学校的作用
日本の学校との共通点と相違点：学習指導要領に基づいた教育、理事会と授業料、ドイツ語の習得、交流学習

(6) 求められる教員像

健康(家族も) 情熱(子ども達のために) 協調性(同僚・地域)、積極性(チャレンジ精神) →柔軟性とバランス感覚

(7) 派遣教員の役割

学力向上と世界に羽ばたく子ども達の育成、現地理解(ドイツ語習得と文化理解)と日本文化の紹介と交流

(8) まとめにかえて

仲間(家族)との絆視野の広がり(日本の常識=世界の常識)、日本再発見



【熱心に聞く参加者の皆さん】



【堀込芳洋先生草津町立草津中学校】

「出願から出国まで」

派遣教員の公募

- 募集要項配付 (4月中旬) ※校長先生に必確認
- 応募書類 (5月上旬締切)

①「在外教育施設派遣教員選考調査票」(本人作成)

- ・ 応募者情報(住所・氏名・生年月日・学歴一教職歴・所有免許状等)
- ・ 派遣希望(即派遣 or 来年度登録派遣 or どちらでもよい)
- ・ 外国語能力 ・勤務歴、経験公務分掌、研修状況
- ・ 指導経験および指導可能 教科・クラブ等
- ・ 特技、資格、趣味、健康状態、既往歴 ・家族状況等 ・受験理由
- ・ 派遣先希望(○どこへも希望する○希望しない国、地域<理由>)

②「在外教育施設派遣教員推薦書」(校長作成)

県教委 派遣教員選考面接

- 6月上旬 県総合教育センター
- ①個人面接(試験官2人と受験者1人) 約20分
- ②集団面接(試験官4人と受験者4人) 約30分
- 面接内容
 - ・ 志望動機
 - ・ 家族構成と家族の理解(特に配偶者)
 - ・ 在外で自分の力をどう生かせるのか
 - ・ 国内と異なる環境で、教材等の不足をどう克服するのか
 - ・ 多様な価値観の派遣教員の中で、どう行動するのか
 - ・ 職場や保護者との人間関係が悪化した場合どうするのか
 - ・ 帰国後に本県の児童生徒へ貢献できることは何か など

※県派遣教員内定者研修会

- 7月上旬(県庁舎)
- 登録内定者対象(前年度合格者)
- 講話等 ~文科省面接へ向けての心構え~ 等

渡航手続き

- 12月上旬 文部科学省より渡航手続書類の提出依頼
- ※提出期間は2週間ほど 12月中旬提出締切
 - ・ 公用旅券発給請求書 等(米国・台湾以外の派遣教員)
 - ・ 顔写真 ・家族随伴許可願 ・一般旅券の写し
 - ・ 査証【ビザ】取得用戸籍謄本
(メキシコ・豪・英・葡・ア・イラン・スウェーデン・仏・サウジ・トルコ・カタール・ブラジル・ニュージーランド・スリランカ・カナダ・アメリカ)

● 選考結果の明示はなく、

7月中旬に文科省選考試験実施の案内があった。文科省試験は10日後であった。

● 文科省への持参書類の作成

「選考に当たっての追加確認事項」

- ・ 同伴家族について
- ・ 両親の健康状態、派遣中の世話人の有無
- ・ 海外生活、渡航経験
- ・ 教員としての心がけ、自身の性格、配偶者の性「誓約書」
- ・ 赴任地についての一任、または辞退書

文部科学省 派遣教員選考面接

- 7月下旬 文部科学省(旧文部省庁舎)
- 「選考に当たっての追加確認事項」「誓約書」提出
- 個人面接(試験官3人と受験者1人) 約15分
- <面接内容>
 - ・ 志望動機・家族構成と家族の理解(特に配偶者)
 - ・ 派遣先の希望確認
 - ・ 在外で自分の力をどう生かせるのか
 - ・ 校内における「主任」とその役割 など
- 10月下旬 健康診断書の提出
- 面接結果
即派遣(翌年度派遣) → 12月上旬通知派遣先内示
※派遣登録者 → 翌年 2月中旬通知

渡航手続き(つづき)

- 12月中旬
旅行代理店より査証【ビザ】取得書類の提出依頼
・ IIE (国際教育機関) 一身元引受機関 提出書類
・ J-I VISA (研究者、師等交換プログラムビザ) 取得申請書
・ BIO DATA (経歴書) ・ CURRICULUM VITAE (履歴書)
・ 本人情報 ・ 英文推薦状 (県教委義務教育課長へ依頼)
・ 英文卒業証明書 ・ パスポート原本

派遣教員内定者研修会

- 1月下旬 (H28.1.18(月)～1.22(金))
主 催 文部科学省初等中等教育局国際教育科
期 間 5日間 (日曜日入所、月～金曜日)
場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
内 容 : ・ 派遣教員の使命、職務、身分、処遇等
・ 海外子女教育の現状と展望
・ 安全対策と危機管理 ・ 赴任地情報提供
・ 渡航手続き (予防接種説明、引越し業者選定、
旅行保険選定 等)

※前後の日程で配偶者研修会 (H28.1.16(土)) も開催される。
(旅費は自費)

渡航手続き

- B型肝炎予防接種など
1回目2月上旬+2回目3月上旬
- 母子健康手帳の英訳
- 船便発送 ※北米の場合 2月下旬発送→5月中旬
- 海外旅行保険手続き
- 教材教具、事務用品購入 (3年分)
- ビザ取得のため、帯同家族全員で在アメリカ大使館
・ 面接、指紋登録 (旅費は自費)
- 送金口座の準備
- 国際運転免許証取得、運転免許証更新
- 自動車引き払い

- 12月下旬
派遣先学校より届く
「学校要覧」「赴任の手引き」「学校紹介DVD」

群馬県派遣教員内定者研修会・壮行会

3月上旬 (H28.3.4 14:00～県庁)

- 研修会 (県庁)
主 催 : 県教育委員会事務局 学校人事課
内容 :
・ 講話「在外教育施設における教育の特質と派遣教員の心構え」
・ 任地別情報交換会
- 壮行会
(上毛会館:現在は群馬ロイヤルホテルで開催)
主 催 : 群馬県国際理解教育研究会

渡 航

- 4月上旬 (出国前日)
文部科学省辞令交付式
ビザ発給受け取り
- 翌 日 成田国際空港より渡航
- 到着後 始業式
新居へ入居
車購入

Epilogue 今、できること…

- 校長先生へ、在外教育施設派遣希望を表明する。
- 家族等の同意を得る。
- お金を貯める。
- 現任職務を100%全うする。
- 日本文化を学習する。
- 外国語を学習する。
- 自分の趣味をもつ。☆

第1回家族のための研修会



講師の皆様

田村 美雪 様

「アテネ日本人学校(ギリシャ共和国)・台中日本人学校(中華民国)」

星野由美子 様

「ロンドン日本人学校(イギリス)」

原田 幸子 様

「デトロイト補習校(アメリカ合衆国)」

野口香奈子 様

「シンガポール日本人学校中学部 (シンガポール共和国)」

唐沢 ふみ 様

「北京日本人学校(中華人民共和国)」

田村様 星野様 原田様 野口様 唐沢様

1 自己紹介 ＊お一人ずつ

- ・ お名前 ・ 派遣国 ・ 派遣年度

2 派遣に向けての流れ ＊お一人ずつ

- ・ 派遣の話を受けた時期 (家族会議の様子等)
- ・ 派遣までの流れ (日本での事務手続・予防接種・準備等) ・ 任国での生活の立ち上げ (任国での事務手続 ・ 住居準備等)

3 現地での生活について ＊発表いただける方

- ・ 習慣、宗教の違いによる生活の御苦労
- ・ 食材(日本食)の入手等、食事についての御苦労・現地の治安、医療、教育事情(日本との違いなど)

4 それぞれのお立場からの情報提供 *御指名

- (田村様) 管理職夫人としての御苦勞や留意点
- (星野様) お子様の高校進学の事務的流れや御苦勞
- (原田様) 補習校(派遣者が少数・土日勤務など)での御苦勞や留意点
- (野口様) 現地での御出産の様子や教育事情
- (唐沢様) (反日感情や大気汚染などの) 不安を抱く地域での生活の様子や実際の情報

5 派遣を終えて *発表いただける方

- ・派遣前は不安だったが現地では問題なかったこと・派遣前は気付かなかったが派遣後に困ったこと・任国での困難解消の手立て
- ・帰国後に振り返って

6 参加者からの質問への御回答やアドバイス *発表いただける方

◇支度金について (参考例)

情報提供: Webmaster@海外で教える

1. アジア地区 (単身)

600~650万円持参予定 (平成16年の派遣) H16/3/25

【内訳/情報】 (BBS16 投稿日: 2004/03/24(Wed) より転記)

- ・住宅費1年間前払い 22万円ほど(1ヶ月家賃)が手付け金で、5月くらいにあと11ヶ月分支払います。(200万~250万円)。生活が安定するまでの資金 200万円ほど
- ・車購入代金 200万~250万円(グレードによる)。定期預金などを解約して、\$に換金しました。
- ・家族がいれば、日本人学校入学で1人20万くらいかかるようです。

2. アフリカ(家族3名)

400~450万円持参 (平成14年の派遣) H16/3/24

【内訳/情報】

(着任当初購入する車によって変化します。)

- ・用途は、家賃&デポジット、ベッド・冷蔵庫・洗濯機など家具・電化製品/生活必需品の購入。携帯電話購入/電話敷設費なども入ります。ただし、他にクレジットカード(日本で作った)で決済したのもあって、これが5~10万くらいであったか、と思います。
- ・当地の人も持ち歩くのは、1500~3000円程度、といった額で、それ以上はカードでの支払いが多い。
- ・為替レートと当地のインフレの関係で、生活の方は厳しいです。

3. 北米(夫婦2人)

400万円 持参 (平成16年の派遣) H16/3/20

【内訳/情報】。共済組合等から借る

- ・既に、350万円使う。(H16/3/20現在の残高 50万円)

4. パルセロナ(家族5人)

500万円 (2002年)

【内訳/情報】。150万円 (電化製品・子ども3人の学用品・生活品)

- ・350万円 持参 (在勤手当てが支給されるまでの生活費、ピソ契約費、車リース代、日本人学校学費など)
- ・車については、月500ユーロほど必要ですが、保険も込みの値段で、メンテナンスもしてくれますので、安心して運転ができます。

5. マニラ情報 (単身)

800万円~1000万円位でしょうか。 家族構成によって違う。(2002年)

【内訳/情報】

- ・300万円~350万円。住宅デポジット、家賃の2ヶ月分。これは、赴任前に必要。契約の時に1年分の家賃を前払い。
- ・100万円家具がついていない場合には、家具代またはレンタル料が別途に必要。私の場合には、100万円近くかかった。
- ・200万円 自家用車と保険料。車種によっても違いますが、安くても200万円ぐらいはかかる。
- ・ドライバーさんとメイドさん(使用人) 治安上、防犯上、さまざまな理由から、マニラでは必要。もちろん月々の給料が、けっこうかかる。12月には、ボーナスとクリスマス、給料が重なり大変。人にしてもらって楽だろうと思われそうですが、気苦勞が絶えません。
- ・日本での荷物の運送費、保険料、予防接種、赴任に関わる準備、派遣先に着いてからの子どもの学費、生活費など着任時にはお金がかかることが多い。
- ・4月の給料がニューヨークの口座に入金し、それをこちらに引き寄せるのに3週間にかかる。ですから、2.3ヶ月分の生活費も必要。